

わんぱく学園ニュース

平成18年 4月号 No123

卯月——

桜は、花の盛りとともに、その散りぎわの花を愛でるのもこの時季ならでは……。花の下に花むしろを広げ、手作り弁当や杯に映り舞い散るその風情もなかなかのものです。また山ざとに遅れて咲く山桜にも心ひかれる私です。なぜか……。

「桜いろ、旅立つ児らの、まぶしさや」 ~垣

「子ども達が主役」地域で見守り、育てよう

東部ブロック特別支援教育部長 榎野博巳
(出雲市立平田小学校長)

平成18年度がスタートいたしました。昨年に引き続き東部ブロックの特別支援教育部長になりました。特別に支援を要する子ども達に「温かい光を」と願いながら取り組み、子ども達の笑顔いっぱいな姿を思いながらの活動だったように思います。

その支え(基盤)となっているのが、この「わんぱく学園」の地域ぐるみの支援活動であるように思います。思い起こせば、陶芸家安食ひろ先生のご指導で、県立美術館で、あれだけダイナミックな「純粋芸術と子ども達～アートは遊び心～」の展示会は感動的でした。このように地域の皆様のご協力で、毎月休業日に子ども達と一緒に活動をしていただけることは、支援を要する子ども達の「自立」を促し、「共に歩む実践活動」の具体的な姿であると思います。「子ども達が主役」との願いのもとに、たくさんのボランティアの皆様のご支援や支えによって、今年度も「わんぱく学園」の活動が充実・発展しますことを念じ、一緒に連携をして歩みたいと思っています。

さて、3月に楽しんだ「学園」の遊びの 一部を紹介致します。

☆あんこいっぱい、いちご大福

先日、子どもと一緒にわんぱく学園の“いちご大福作り”に参加させて頂きました。

元紀はこの日をととても楽しみにしていて、朝から自分でエプロンをつけたり、大はりきりでした。教室でもお友達と一緒にあんこを丸めたり、いちごにそのあんこをまぶしたり、気がつくとも口もあんこだらけになっていました。(もしかすると、丸めたあんこよりも口に入ったお味見のあんこが多かったかも…)

ぎゅうひで包むところは、少し熱かったので私がやりましたが、出来たてをその場で頂き、形はどうあれやっぱり自分で作った大福は、特別おいしかったようです。家にもたくさんのお土産ができ、お兄ちゃん、お父さん、おじいさん、おばあさん皆に作り方の説明をしたり、食べてもらったりし、「またお家でも作ろうね」と話し合いました。

20人余りの子どもやお母さん方と触れ合いながら、親子で楽しい時間を過ごさせて頂き、おなかも心もいっぱいになりました。

ありがとうございました。

吾郷元紀 母 佳子

◆4月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

4月 2日	お休みにしました
9日	お休みにしました
16日	竹の子掘りす～か!? (担当原 鞆・山口 蔚) おにぎり水筒の準備してね・ 集合場所;アリエおちらと」 行き先;原さん家 野谷 ご家庭にスコップ等ある方は準備してね
26日	粘土でピカソのコップつくろ! (担当;安食ひろ 榎 鞆;アリエおちらと) 野だて(抹茶)は いかが? 葉桜見ながら 山崎古墳にて(おちらとさん 鞆 鞆)

集合時間 9時30分 → 集合場所 光人塾前又は直接行ってね

《学園の問い合わせ》 上江09077745913 《文責 上江 和世》